

## 公立認定こども園に関する説明会

### <開催状況>

第1回 平成29年5月28日(日) 9:30~10:50

さくらんど会館多目的ホール

伊藤市長、井上教育長

こども課・林課長、鈴木課長補佐、伊藤子育て企画係長、吉井保育係長  
学校教育課・弦巻課長、飯利課長補佐、杵淵学務係長

第2回 平成29年5月30日(火) 19:00~19:55

村松幼稚園遊戯室

井上教育長

こども課・林課長、鈴木課長補佐、伊藤子育て企画係長、吉井保育係長  
学校教育課・弦巻課長、飯利課長補佐、杵淵学務係長

第3回 平成29年6月1日(木) 19:00~20:00

村松第1保育園遊戯室

井上教育長

こども課・林課長、鈴木課長補佐、伊藤子育て企画係長、吉井保育係長  
学校教育課・弦巻課長、飯利課長補佐、杵淵学務係長

第4回 平成29年6月4日(日) 9:30~10:25

さくらアリーナ会議室

こども課・林課長、鈴木課長補佐、伊藤子育て企画係長、吉井保育係長  
学校教育課・弦巻課長、飯利課長補佐、杵淵学務係長

### <参加者の状況>

	男	女	合計	その他
第1回	5人	10人	15人	他、子ども6人
第2回	4人	6人	10人	他、園長・主任教諭
第3回	8人	9人	17人	他、園長・保育士5人
第4回	6人	5人	11人	他、子ども2人
合計	23人	30人	53人	※延べ人数

<質疑応答>

◎整備方針について

○認定こども園の整備ではなく、第1保育園を建て替えることは検討していないのか。

【回答】検討していない。保育園を建て替えるとなると、大蒲原保育園や川内保育園も含めて、村松地域全体の保育行政を考えて検討する必要があると考えている。また、村松第1保育園と村松幼稚園を統合して、100人規模の認定こども園の施設を新しく建てるのも難しい。村松幼稚園の建物を0～2歳の子どもの保育ができるように改修して開設するのがよいと考えている。

ただし、住民から理解を得られなければ、村松第1保育園と村松幼稚園を統合して認定こども園を開設することはできないと考えている。

○施設整備にはコストがかかり、コストは税金に跳ね返ってくる。保育園の建て替えよりも統合による認定こども園の整備の方がイニシャルコストが低いと判断したとうことか。

【回答】そのようなことも含めての提案である。

○整備方針はいつ正式に決まるのか。

【回答】何度かの説明会で意見を聞き、市の方針に概ね理解が得られたと判断できた後、市議会に提案し、そこで了解が得られてから、実際に準備を進めて行くことになる。

○認定こども園開設の時点で村松第1保育園に入園している児童の取り扱いはどうなるか。

【回答】保護者の希望により、認定こども園に入園するか、他の保育園に移るかを選択していただくことになるだろう。認定こども園は、今後順調に進んだ場合で平成32年開設を目指している。その時点で判断いただくことになる。

○現在の両園の入園者数の合計は118人。村松幼稚園の場所に多くの子どもが通うことになると、安全対策や渋滞対策が必要だと思うので、その点も併せて考えて欲しい。かと言って、第1保育園の場所に認定こども園を開設すべきとは言わないが。

【回答】関係課と相談、検討する。

○認定区分に関わらず入園できる施設ができるのは、歓迎する。認定区分が変わる人

数はどの程度いると見込んでいるか。

【回答】把握していないが、保護者の状況により入る施設が違うという問題がなくなることはメリットである。

○認定こども園には賛成である。

#### ◎開設時期について

○いつ頃開設する予定か。

【回答】今回提案した内容で理解をいただけたとして、順調に準備を進められた場合で、最短で平成 32 年 4 月の開設を考えている。施設の改修や教育・保育の内容を決めることなど、今年度を含めて準備に 3 年かかると考えている。

#### ◎保育料について

○認定こども園になると、保育料はどうなるのか。

○保育料は統一されるのか。

○認定区分による保育時間の長さの差は実際にはそれほど大きくないと思うが、認定区分による保育料の金額の差が大きいのではないか。

【回答】認定こども園になっても、認定区分によって保育料が決まり、1号認定は幼稚園、2号・3号認定は保育園と同じ制度が適用される。

2号・3号認定は、公立と私立で同じ保育料設定となっている。所得階層区分（現在は 20 段階）により市で定めており、2号認定の最も高い人で月額 30,500 円である。また、条件はあるが第 2 子は半額、第 3 子は無料等の軽減、低所得の母子世帯等への軽減制度などがある。市の保育料は国の基準よりも低く設定しているが、国は保育料の段階的無償化の取り組みも進めており、国の基準が改正されれば市もさらに見直しを行うので、現在の金額がそのまま適用されるということではない。

1号認定は、現在、公立と私立で保育料の設定が異なっている。私立は所得階層区分（現在 5 段階）で設定しており、最も高い人で月額 20,500 円である。国より低い基準であり、こちらも多子軽減等がある。一方、公立は現在月額一律 6,000 円で、そこから低所得や多子世帯への軽減がある。国の方針では、公立と私立の保育料の統一を図ることを求めており、課題の 1 つであるが、認定こども園の整備とは別の話であると考えている。

現時点では、認定こども園の整備に伴って負担が増えることはないようにしたいと考えている。

また、保育料以外の費用負担も、基本的には認定区分により幼稚園または保育園と同じ制度が適用される。最も大きいものは給食費であるが、1号認定は保育料と別に徴収するが、2号・3号認定は給食に係る費用が保育料に含まれており、2号認定の主食費以外の徴収はない。

認定区分による制度の違いは仕方がない。それ以外の費用負担については、できるだけ負担の少ないように統一したいと考えている。

○認定区分による料金設定が複雑。認定こども園ではもう少しシンプルなやり方できないのか。

【回答】1号認定と2号・3号認定では国の制度自体が違い、それぞれの制度に沿う必要があるため、まったく同じ形にすることは難しい。工夫をして、何とか近づけていきたいとは考えている。

#### ◎認定こども園の内容について

○保護者の就労の状況が変わり、認定区分が変わった場合は、教育・保育の内容と費用負担が変わると理解でよいか。

【回答】その通りである。

○資料（燕市の認定こども園パンフレットのコピー）を見て、年間行事が多いと感じた。保育園では働いている保護者が多いので、参加型の行事はそれほど多くない。

【回答】五泉市で公立の認定こども園を開設するにあたっては、保育園と幼稚園ですりあわせを行い、保護者の意見も聞きながら内容を決めていく。

○認定こども園では、1号認定のこどもの保育時間を延長するのか。

【回答】現在、私立の認定こども園では一時預かりを行っているが、公立幼稚園では実施していない。公立認定こども園を開設したら、新たに1号認定こどもの一時預かりを行いたいと考えている。ただし、1号認定はもともと家庭で必要な保育が受けられると判断されているものであることから、公立の施設としては理由を問わず一時預かりするのではなく、冠婚葬祭や、保護者の急病、急用の場合などに限って対応することを、現段階では考えている。

## ◎人員配置について

○職員の配置数や資格はどのようになるのか。

【回答】配置数は保育園と同じ。原則として、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方を有する職員を配置する必要がある。なお、五泉市では、現在は保育士資格と幼稚園教諭免許の両方を有する者のみを採用している。

○現在の村松第1保育園と村松幼稚園の職員が認定こども園に配置されるのか。

【回答】市立の保育園、幼稚園全体の中で、子どもの数も含めて配置を決めることになる。現在村松第1保育園及び村松幼稚園にいる職員がそのまま認定こども園に配置されるということではない。

## ◎村松幼稚園の増築・改修及び工事中の運営について

○村松幼稚園の改修工事中、給食は提供されるのか。

○工事中はどこで村松幼稚園を運営するのか。

【回答】工事期間中の村松幼稚園の運営について、村松幼稚園の施設で教育・保育を行うこと自体ができるかどうか。工事期間中、別の場所で運営することも含めて考えている。1つの案としては、五泉地域の第一幼稚園にバスで送迎して、そこで村松幼稚園の運営を行うことを考えている。設備も問題なく、スペースもある。ただし、移動距離が長いことの子どもの負担が心配な点である。いずれにしても、工事期間中も給食は提供できる体制で村松幼稚園の運営を行うつもりである。

○順調に行ったスケジュールの場合、村松幼稚園の改修期間中に子どもが卒園を迎えらると思われる。卒園式など、節目の行事は村松幼稚園の園舎で行えるように工事期間について配慮してほしい。

【回答】今の時点では改修の内容も業者も決まっていないので、何とも言えないが、配慮できるよう検討したい。

## ◎現在の保育園・幼稚園の施設及び運営等について

○現在の待機児童の状況は。

【回答】平成29年4月現在、0人である。

○村松第1保育園と村松幼稚園を統合して村松幼稚園の場所に認定こども園を開設すること自体には賛成だが、もう村松第1保育園の改修等を行わないのか。今入園している子どもたちのことも考えて対応してほしい。

【回答】これまで冷房設備のなかった3歳以上の保育室に設置工事中であり、夏までに完了する予定。村松第1保育園と村松幼稚園の統合が決まっても、村松第1保育園がある間は環境整備を行っていく。

#### ◎その他

○子どもが第一保育園に通っているが、村松幼稚園に通うと村松小学校に行くことになるのか。

【回答】学区は住んでいる場所で決まる。自宅近くの（学区内の）保育園や幼稚園に通う場合が多いが、実際には、どの保育園や幼稚園に通うかは通う小学校とは関係ない。

○本田屋から五泉地域の総合保育園に入ることは可能か。

【回答】可能である。入園申込書の希望園に書いてほしい。

○幼稚園の預かりの時間をあと2時間程度延長してほしい。

【回答】制度が関わってくることであり、難しいと思う。やってよいのかを含めて検討する必要がある。

○村松地域に小児科専門の医療機関がないのが不安。遠い。

【回答】医師の確保は大きな課題と考えている。南部郷病院も北日本脳神経外科病院と統合する。医師会とも連携して取り組みたい。